



校長先生からのごあいさつ(最終号によせて)

冬季休業が明け、学校生活を再開し本日まで歩んでまいりました。来週はいよいよ卒業週間に入ります。高校3年生、第57回生の卒業が目の前に迫ってまいりました。

これまで、ここ札幌聖心での学びの集大成を顧みて、自分の成長について実感を込めてふり返りながら、次のステージに向けての歩みを進める貴重な期間としてきました。「ここは世界に開かれた窓」の言葉の通り、世界に目を向け、世界規模の課題を自分ごととして、自分には何ができるかを考え実行する教育の中で、これまでに学院を卒業していった幾多の先輩方と同様、今年の高3生も大きな成長を遂げました。一人ひとりの心の中にその確かな成長のあかしを見出し、今後卒業へと向かってまいります。そしてそれを胸に携え、次のステージでの活躍に結び付けてくれるものと確信しております。

これまで学院を支えてくださった保護者の皆様をはじめ、多くの関係の方々への感謝とともに、学校としても第57回生の成長を最後まで支えながら、今年度の学校テーマである、「Carry the Message of the Sacred Heart (みこころのメッセージを伝えよう)」のもと、最後の歩みを進めてまいります。

卒業し巣立っていく生徒たち一人ひとりが、ささやかでも希望の輝きとなり、そして今後、旅立っていくそれぞれの場所で輝き、暗闇を照らしながら、みこころのメッセージを伝えていくことができますように、祈っております。

【校長 齊藤隆浩】

2月の予定

		行事	弁当
1	土		
2	日		
		～卒業週間～	
3	月	作法・宗教発表準備・茂仁香会・年金講話・式練習	要
4	火	図書刊インテ-ジョン・講演会 母の会聖書サークル (10:30~Sr.新庄・Sr.田口)	任意
5	水	祈りの日	要
6	木	宗教発表・式練習・姉妹会総会・送別会 母の会主催お楽しみ会(16:00~17:00) 寄宿送別会	要
7	金	大掃除・式練習・講演会・AMASCハ-ツグ授与等	要
8	土	午前：卒業式 午後：感謝のつどい(生徒は14:40終了予定)	要
9	日		

炊き出しボランティア

昨年末に実施したクリスマス・プラクティスの実りとして全校生徒から捧げられた「お米・加口」を、12月25日(水)にカリック北1条教会内のホームレス支援団体「みなずき会」にお届けしました。

お届けに上がった高校生5名はお弁当やアメティグ-ツの配布活動も行いました。



池上彰さんの授業

さまざまなジャンルの本の著者が各地の学校を訪問して特別授業をする「オーサー・ビジット」(朝日新聞社主催)で、ジャーナリストの池上彰さんが来校し、授業をしてくださいました。「学ぶこと、働くこと、キリスト教のこと」をテーマにしながら、本校最後の卒業生に向けて大切なメッセージをくださいました。



姉妹会会費の残金について

姉妹会執行部で検討、在校生の合意を得て、本校と繋がりがあった次の6団体に寄付することとなりました。

- プラチープ財団 ○公益財団法人 日本ユニセフ協会
- 認定NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ
- 特定非営利活動法人 難民を助ける会(AAR Japan)
- 国際協力NGO ワールド・ビジョン・ジャパン
- 社会福祉法人 雪の聖母園

今月のこころのことば



「しばらくするとあなたがたは、もはやわたしを見なくなります。しかし、またしばらくするとわたしを見ます。・・・あなたがたは悲しむが、しかし、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。」

(ヨハネによる福音書16章16、20節)

57回生の卒業と同時に62年前に生まれた札幌聖心は神様の御手に返されます。卒業生を迎える母校としては存在しなくなるということを考える時、悲しみがあふれますが、上記のみことばに力づけられます。

十字架の死を覚悟したイエスは、生身の人間としての自分に出会うことはないと言います。しかし、その悲しみはやがて、聖霊の助けによって、魂の段階で自分に出逢う喜びに変わるとイエスは語ります。

ある卒業生から届いたクリスマスカードに「我が家のように母校がなくなるのは悲しいことです。でも札幌聖心は私たちの言葉と行動の中にあります。だから悲しまないでください。」と書かれていました。また、アフリカでエイズ孤児支援の活動をしている卒業生は、「札幌聖心で学ばなかったら、この生き方は選ばなかったと思います。」と語ってくれました。その生き方の中に札幌聖心のいのちがあると気づいて、閉校という現実を新しい目で観ることが出来るようになりました。

さらに「札幌聖心の教育を、ここで途絶えさせてはならない」と考え、北海道大学大学院を受験し、合格して、この春から「札幌聖心の教育を、未来につないでいく研究」に取り組む頼もしい卒業生の存在に力づけられます。

これから巣立つ57回生の一人ひとりの中に札幌聖心のいのちが息づいています。形を失っても、私たちは札幌聖心に出逢うことが出来る、そう気づくと力が湧いてきます。「決してあなたを離れず、置き去りにしない」というみこころのメッセージを運ぶ57回生の旅は、そのまま一人ひとりの中に息づく札幌聖心のいのちの歩みに重なります。その一步一步に神様の祝福がありますようにと切に祈ります。

(チャプレン田口保子)

【重要】卒業式以降に関する確認事項

- 学校管理の Google アカウントは、生徒は卒業式、教職員は2月末をもって使用できなくなります。
- ホームページは、4月からは主に卒業生にむけた各種証明書の発行に関する事務的な内容に変更されます。
- 3月末までに来校を希望する場合は必ず事前に学校へ連絡を入れ、確認をとるようにしてください。尚、2月中は校舎片付け作業のため午前中の来校は対応が難しいことをご理解願います。
- 本校の校舎、敷地は4月1日より学校法人北星学園の所有となります。
- お問い合わせがある場合、3月末までは札幌聖心女子学院へご連絡ください(平日9:00~17:00)。4月からは聖心女子学院法人本部が対応します。

聖心女子学院法人本部

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-3-1

Tel.03-3400-7300(代) / Fax.03-3400-7370



最後まで楽しんでます!